

水土里情報活用ニュース・レター

第 140 号

2020/9

目 次

1. 電子ファイリングシステムと連携した資料管理について紹介します（山形県） …… 1
2. 土地改良施設情報のGISデータ整備（埼玉県） …… 3
3. 人・農地プラン実質化に向けた図面の作成について紹介します（愛知県） …… 5
4. 土地改良区施設台帳のGIS化について紹介します（山口県） …… 7
5. 水土里情報とグーグルマップによるため池マップについて紹介します（宮崎県） …… 9

■お問い合わせ先（全体）

農村振興局整備部設計課計画調整室 長期計画班 高橋、北條（電話番号）03-6744-2201

今回紹介する団体：水土里ネットやまがた

取組概要

内容：① 市町村及び土地改良区（以下「施設管理者」という）が保管している土地改良施設の仕様書や完成写真等の調書、図面等の紙資料のスキニングを行い、Web 経由で閲覧可能な『水土里ファイリングシステムサイト（H24 年度に山形県土連の事業で水土里 GIS と連携。以下「ファイリングサイト」という）』に登録する。

② 水土里情報システムにファイリングサイトへアクセスするリンクを作成。事業実施エリアや施設位置などの視覚的な情報から資料の探索を可能にする。

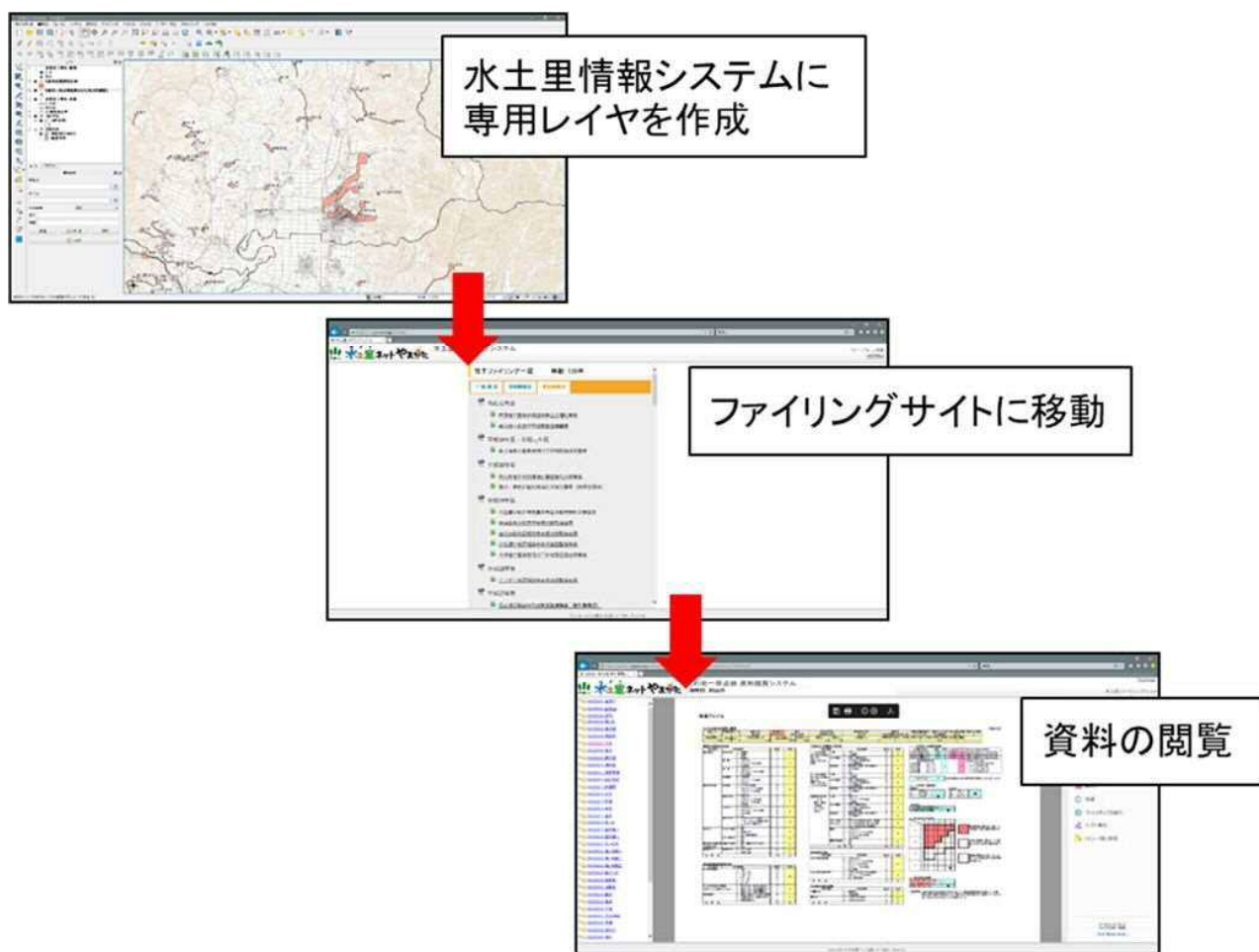
経緯： 施設管理者が管理する土地改良施設および事業に関する過去の資料（調書・図面・写真等）の大部分は紙で保管されており、その量も膨大であることから、補修・再整備時、あるいは災害対応時に必要な資料の探索に多大な時間を要している。

このため、水土里ネットやまがたでは、県等からの委託を受け、ファイリングサイトへの資料登録（H15 年度～）と地図 GIS とのリンクによる電子ファイリングシステムと連携した資料管理の支援に取り組んでいる。

取組による効果

- 情報の一元化と、地図上からの視覚的な探索による資料の検索時間、労力の削減。
- 膨大な過去の紙資料の整理、削減と次世代への情報の継承。
- 閲覧範囲を設定することにより、関係者間での容易な情報共有が実現。
- 登録要望データから、ユーザーが求める水土里情報システムへの需要を分析し、今後の開発方針に活用。

【イメージ図】



今後の活用予定

- 被災状況写真、現地調査資料
- ため池決壊時の浸水想定区域図、解析資料
- 人・農地プラン関連資料

これらの資料をファイリングサイトに追加登録し、将来の事業計画策定等における活用を考えている。

GISシステムのバージョン情報

GIS エンジン : QGIS Version 2.2.0、水土里 GIS Ver2.0

■お問い合わせ先

山形県土地改良事業団体連合会（水土里情報センター室） 023-647-5387